

入賞

ペンネーム K [福岡県／29歳] テーマ「親鸞聖人」

親鸞聖人へ伝えたいメッセージ

私は、寺の子として生まれ育ちました。私は物心ついた時から大きな悩みを抱えていました。それは、心の性と身体の性の不一致である性同一性障害です。私は女で生まれ、身体は女。しかし、脳と心が男なのです。29年間この障害は私から離れることはありませんでした。何度も何度もつらい思いをし、幼いながらに生きることを苦しみ悔やみながら生活をしてきました。何の為に、そして誰の為に生きているのか……。早くこの生が終わってしまえばいいのにと思いながら過ごした事もありました。今ある命の意味さえわからなかった時もあり、つらい現実から逃げたい一心でマイナスの感情だけが生きていました。それでもここまで生きてこれたのは、縁あって私が寺の子として生まれ、今の両親に育てられ親鸞聖人の教えを学ぶことが出来たからだと思っています。そして私の隣にはいつもお念仏がありました。幼い頃は、ただ本堂があって祖父母や両親が「南無阿弥陀仏」とお念仏をととなえ、それが当たり前で当たり前毎日の毎日でした。親鸞聖人からいただいた縁が私をここまで育ててくれた事に感謝の念で一杯です。女だから男だから、女らしく男らしくという環境の中で自分らしくを表現できなかつた事もありました。私が少しずつ今ある命に感謝できるようになったのは、親鸞聖人からいただいた「人は全て平等である。」というみ教えでした。何度もこのみ教えに救われました。性別どうこうではなく、親鸞聖人に願われた一人の人間として、一つの命として、この性でこの生を生き抜きたいと思います。

合掌